

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
A M						
スタッフ	岡田	平形	厚東	慶野	山田昌	井上真
紹介初診	江本	水野	林、伊藤、熊谷 黄、齋藤翔	富田	久須見	齋藤恒
再 診	井上真、廣田 北、安藤、角田 眼窩(今野・柳沼・ 齋藤恒・久保)	鈴木、中山、齋藤恒 加藤、富田、林 伊藤、黄、成田 高間(隔月1)	松木、石田、伊東(隔) 久須見、安藤、岡野 佐野(第1週)	厚東、北、江本、中山 齋藤恒、加藤 水野、大岩	松木、渡辺敏、福本 小児 (鈴木・濱・満川・富田)	廣田、江本(希) 熊谷、齋藤翔 堀江(第4,5週)
P M						
専門外来	眼炎症 岡田・慶野・渡辺交 中山・安藤・林	網膜硝子体 平形・石田・加藤	黄斑 岡田・中山	眼炎症 慶野	糖尿病 勝田(隔)・平形	
	網膜硝子体 井上真	角膜 山田昌・重安 藤井・久須見	緑内障 吉野(第2週)・北 江本・齋藤恒・村井	緑内障 五月女(第1週)	神経眼科 気賀沢(隔)・渡辺敏	
	緑内障 北・山口		水晶体 松木	黄斑 岡田・山本・中山	小児 鈴木・濱・満川・富田	
			角膜 山田昌(第1,2,4週)			

イベント情報

新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、延期や中止などの変更が生じる可能性がありますので、ご参加の際は最新の情報をご確認いただきたく存じます。

<第11回東京多摩眼科連携セミナー>

2020年5月9日(土)に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、残念ながら中止といたしました。
次回は2021年春の予定です。

<12th Eye Center Summit>

2020年5月23日(土)に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、残念ながら中止といたしました。
次回は2021年春の予定です。

<第5回多摩眼科3Mネットワーク>

2020年6月3日(水)に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、残念ながら延期といたしました。
なお、延期後の日程は未定です。

<第16回 Eye Care Strategy Seminar>

2020年7月4日(土) 17:00 ~ 19:00 場所: ヒルトン東京4階 菊の間
会費: 1,000円 (日本眼科学会認定専門医2単位)

第1テーマ: 「オキュラーサーフェス疾患についての最近の話題(2020年版)仮」
堀裕一先生(東邦大学医療センター大森病院 眼科 教授)

第2テーマ: 「OCT angiographyを用いた糖尿病黄斑浮腫の抗 VEGF 薬治療」
村田 敏規 先生(信州大学医学部 眼科学教室 教授)

<第3回日本近視学会総会>

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、
2020年9月26日(土)・27日(日)に
予定しておりました第3回日本近視学会総会を、
以下の通りに延期させていただくことになりました。

開催日程: 2021年5月22日(土)・23日(日)
開催場所: 赤坂インターシティコンファレンス



編集部からのコメント

山田教授の角膜外来の充実とともに、眼感染症や抗菌薬の使い方について、医局員は学ぶ機会が増えました。一方、現在、世界中の未曾有の新型コロナウイルス感染で、医療における感染症の恐ろしさを痛感しております。アイセンターでは眼科の重症疾患の対応維持のために外来診療などに様々な制限を設け、先生方にも多くのご配慮を賜っています。
この経験から学ぶことを将来につなげるためにも、皆で相談しながらより良い環境整備に努めますので、どうかご指導のほどよろしくお願いいたします。(AH)

Kyorin Eye Center
Newslettervol. 58
Spring
2020

〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2 杏林アイセンター Tel: 0422-47-5511 (ext. 2606) Fax: 0422-46-9309

- ◆角膜外来の紹介(久須見 有美)<1-2> ◆フォトアルバム2<3>
 - ◆海外からの見学者<2> ◆2020年度外来表<4>
 - ◆フォトアルバム1<2> ◆イベント情報<4>
 - ◆新型コロナウイルス感染症対策のご案内<3> ◆編集部からのコメント<4>
- <執筆者:括弧に明記 production:岡田アナベルあやめ、中山真紀子、富田茜、仲島みずき>

角膜外来の紹介 (久須見 有美)



上段左から二宮、藤井、黄(専攻医)、高野(川崎市立井田病院)
下段左から重安、山田教授、久須見

角膜外来は火曜午後に診療を行っています。山田教授、重安、藤井、松本(育休中)、久須見が担当しています。外来では水疱性角膜症、角膜ジストロフィ、円錐角膜、感染性角膜炎、難治性ドライアイ、自己免疫・アレルギー性疾患など様々な角結膜疾患の診療を行っています。3年前、私が大学に帰室して角膜班に入った頃はまだまだ専攻医(後期研修医)不足のため病棟業務以外の専門外来で学ぶことは難しかったですが、最近は入局者が増えたため、専攻医の先生方にも角膜外来に参加していただけるようになりました。角膜疾患は特徴的な形態を一度みたら忘れない疾患も少なくありません。専攻医の先生方が山田教授と一緒に

実際に実際の患者さんの診察をしながら学べる機会ができたことは、教育面では大きな前進だと思います。ちなみに図1の症例は何でしょうか?(答えは文末に示します)

感染性角膜炎はご紹介いただくことが多い疾患であり、難治例や重症例が多く、中には最初から角膜穿孔を来たしている症例もあります。初期治療を継続しただけで治癒することもあります。真菌やアメーバ、薬剤耐性菌によるものでは、保険処方できる点眼が限られているため、院内製剤を用いることも少なくありません。

当院では角膜移植は基本的に海外ドナーを用いた予定手術で行っており、入院期間は一週間程度です。最も多いのは水疱性角膜症ですが、角膜潰瘍や角膜穿孔に対する治療的角膜移植も多く、年間40-50例程度の角膜移植手術を行っています。角膜移植は全層角膜移植や表層角膜移植、角膜内皮移植などを症例に応じて選択しています。現在、羊膜を用いた手術を行うためには羊膜バンクからの提供が必須となっており、当科では以前のように院内での提供が難しくなったため、原則的に羊膜を用いた手術は行っていません。

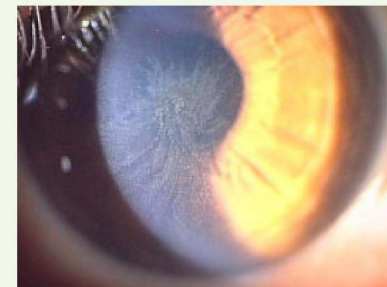
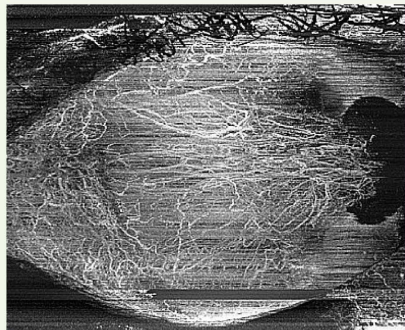


図1

翼状片や帯状角膜変性などに対する外眼部手術は主に日帰り手術で行っています。翼状片の再発例や若年例の手術に併用することの多いマイルドマイシンCですが、2019年10月に無菌性の確保ができないとのことで自主回収になった影響で、一時期使用できない状態でした。現在は当院での術中使用制度を整え、患者さんに適応外使用について十分な説明と同意をいただいた上で使用しています。

帯状角膜変性の治療には、当科にはエキシマレーザーがないため、カルシウムのキレート剤としてエチレンジアミン四酢酸（EDTA）を用いてマニュアルで角膜表層切除術を行っています。術後の角膜菲薄化や不整乱視が少ないメリットもあり、術後成績は良好です。



研究は、主に臨床研究および多施設共同研究を行っています。臨床研究では専攻医の先生だけでなく、視能訓練士も学会で発表しています。最近ではOCTアンギオグラフィー（OCTA）を前眼部にも応用して結膜血管密度の評価を行っています。後眼部用OCTAに前置レンズを装着して撮影すると、図2のような画像が描出されます。結膜充血の評価につき第73回日本臨床眼科学会で発表しており、今後もさらに研究をすすめていく予定です。現在の角膜外来1日の患者数は60名程度と倍増しているため、待ち時間につき大変ご迷惑をおかけしておりますが、これからもよりよい医療を患者様に還元できるように日々精進していきたいと思

います。今後とも角膜外来をよろしくお願い申し上げます。
（症例の答え：アミオダロン角膜症）

海外からの見学者



Dr. Anna Utami
Jakarta Eye Center
インドネシア



Dr. Conor Farrell
Trinity College 医学部1年生
ダブリン、アイランド

フォトアルバム1



2019年10月医局旅行にて①



2019年10月医局旅行にて②

新型コロナウイルス感染症対策のご案内

新型コロナウイルス感染症が蔓延し、非常事態宣言も発令されました。どの地域でも未診断もしくは無症状感染者と遭遇する確率も高まっています。

当院では、緊急性の少ない外来や検査および手術の一部を制限させていただくなどの対応を取り、救急をはじめとした特定機能病院としての機能維持を図っています。また、職員に体調不良が生じた場合には直ちに自宅待機を指導し、適切な時期に診療を受けるなどの対策方針を決めています。

アイセンターでも、緊急ではない患者の紹介は極力控えていただくように近隣施設などをお願いしております。ホームページ（HP）に示したような体制で、可能な限り眼科緊急疾患に対応できるように努めています。大学病院の状況の変化で、さらに外来および入院診療を制限する場合も想定されますが、HPなどでお知らせします。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



杏林アイセンター



杏林大学医学部付属病院



日本眼科学会



日本眼科医会

フォトアルバム2



2019年6月弱視斜視学会@浜松



2019年12月忘年会①



2019年12月忘年会②



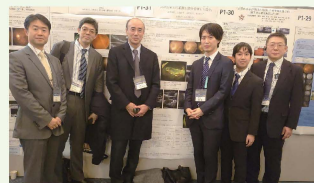
2019年10月日本臨床眼科学会@京都①



2019年10月日本臨床眼科学会@京都②



2019年10月日本臨床眼科学会@京都③



2019年12月網膜硝子体学会@長崎



2019年12月IOIS@Kaohsiung



2020年1月オープンカンファ内田敦郎先生